

日本鱗翅学会第66回大会（大阪）のご案内

日本鱗翅学会第66回大会を下記の通り実施することになりましたのでご案内します。
多数のご参加をお待ちしております。

1. 会場

大会・総会会場：大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23（講堂・集会室・会議室・実習室）

Tel：06-6697-6221 Fax：06-6697-6225

懇親会会場：大阪市立自然史博物館 ナウマンホール

※出入りの際は必ず通用口をお使いください。

2. 日程

2019年11月9日（土）～11月10日（日）

9日（土） 評議員会（午前中）、シンポジウム、一般講演、ポスター講演、懇親会

10日（日） 小集会、一般講演、ポスター講演（コアタイム）、自然保護委員会、総会、特別講演

*8日（金）の夕方に会場内で理事会を開催します。

3. 大会参加費等

正会員・会員外：4,000円 若手会員：2,000円 懇親会費：6,000円

講演要旨集のみ：2,000円（送料込み）

4. 一般講演について

一般講演の持ち時間は質疑応答を含めて15分の予定です。時間厳守をお願いします。映写はご自身で持参されたパソコンをご利用になるか、事務局で準備したパソコン（Microsoft Power PointとAdobe Readerがインストールされたパソコン、OSはWindows10を予定）をご利用ください。ウィルス感染防止のため、講演用ファイルはCD-Rに保存してご持参ください。プロジェクターのVGA端子（15ピン）とご自身のパソコンやタブレットの端子の接続に必要なコネクターは各自ご持参ください。

5. ポスター発表について

ポスター発表で使用するポスターの作成方法は自由です。ポスター発表用パネルのサイズは縦180cm×横90cmです。

6. 大会事務局、問い合わせ先

大会会長：渡辺康之 事務局長：長田庸平

日本鱗翅学会第66回大会事務局

〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23

大阪市立自然史博物館昆虫研究室 長田庸平

Tel: 06-6697-6221 Fax: 06-6697-6225

日本鱗翅学会近畿支部

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科環境動物昆虫学研究室 竹内 剛

Tel: 072-254-9413 Fax: 072-254-9694

E-mail：LSJ66@envi.osakafu-u.ac.jp

7. その他

- ・大会事務局では宿泊のあっせんは行いません。各自で早めのご手配をお願いいたします。
- ・博物館内は全面禁煙ですので、ご協力をお願いいたします。
- ・講堂やナウマンホールは食事禁止です。ナウマンホールは懇親会のみ食事可です。館内の花と緑の自然の情報センター1階にあるカフェ「フォーレスト」で食事できます。
- ・集合写真は講堂で撮影します。
- ・公開シンポジウムのみに参加される方は大会参加費を払う必要はありませんが、本館入口で入場料300円をお支払いのうえご入場ください。

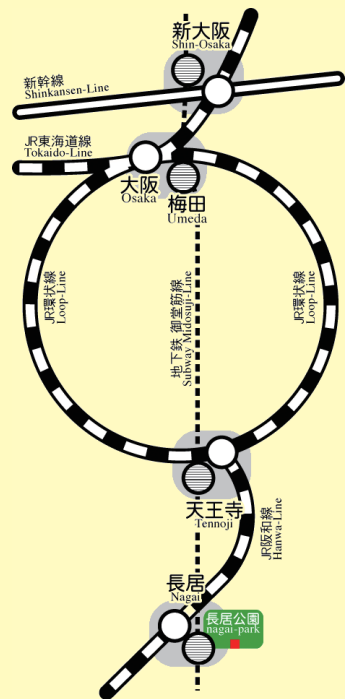
8. 交通案内・会場の地図

地下鉄御堂筋線「長居」駅南改札口3号出口から東へ約800m、JR阪和線「長居」駅東出口から東へ約1km。会場には駐車スペースはありません。お車は長居公園駐車場をご利用ください。

新幹線を利用される方：新大阪駅から大阪メトロ御堂筋線で長居駅（約30分）。

伊丹空港から：大阪空港駅からモノレールで千里中央駅、千里中央駅から北大阪急行・大阪メトロ御堂筋線で長居駅（約1時間）。

関西空港から：JR関西空港駅から関空快速で堺市駅、普通電車に乗り換え長居駅（約1時間）。



※必ず通用口をお使いください。
本館入口は使わないでください。

第1日目：11月9日(土)

時間		
10:00～12:00	評議員会	集会室
12:00～	大会受付開始	講堂前
13:00～13:10	開会の辞	講堂
13:10～15:45	第66回大会公開シンポジウム	講堂
	海をわたる蝶・蝶のきた道 ～日浦勇さんが残した課題はどこまで明らかになったか～ 石井 実（大阪府大）：趣旨説明 福田晴夫（九州）：イチモンジセセリとアサギマダラの移動の謎はどこまで明らかになったか？ 渡辺一雄（中国）・八木孝司（近畿）：ギフチョウのルーツはどこまで明らかになったか？ 長田庸平（大阪自然史博）：チョウだけでなくガ類も海を渡る 森地重博（近畿）：近畿地方におけるチョウ相の変化	
15:45～16:00	記念写真撮影	講堂
16:00～17:30	小集会	
	講堂	集会室
	W-1 保全のシンボルとしての都道府県のチョウ 世話人：矢後勝也・森地重博 石井 実（近畿・大阪府大） 基調講演 矢後勝也（関東・東大） 関東地区の都道府県のチョウ選定候補とその理由 江田信豊（東海・名城大） 東海地区の都道府県のチョウ選定候補とその理由 森地重博（近畿） 近畿地区の都道府県のチョウ選定候補とその理由	W-2 鱗翅目の配偶システム研究の最前線 世話人：竹内 剛 小長谷達郎（基生研・進化発生）：成虫越冬するキタキチョウの生活史戦略：越冬前交尾に着目して 松井悠樹（鳥取大・連農）：ノメイガ類におけるHybrid Type性フェロモン研究の現状と展望 竹内 剛（近畿、大阪府大）：不完全な性認識説の現状
17:40～19:40	懇親会	ナウマンホール

第2日目 11月10日(日)

時間	講堂	集会室
9:30~11:15	一般講演	
9:30	A-1〇本田計一（西条生態研）・玉置高志（東海）・中川智視 本州における多化性テングチョウの発見	B-1津吹 卓（関東） キハダカノコ（ヒトリガ科）の群飛と日周活動性
9:45	A-2福田晴男（関東） アムール南岸域（黒龍江省・伊春）にウラグロホシミスジの観察調査を試みる	B-2〇奥 耐平（九大院）・坂巻祥孝（鹿児島大）・広渡俊哉（九大） 日本産ヒゲナガキバガ科 <i>Lecithocera</i> 属の分類学的再検討
10:00	A-3木村富至（近畿，福井県大・生物資源） 福井県から京都府の日本海沿岸産ホシミスジの化性と形態差の検討—京都府丹後半島と福井県大島半島周辺の野外調査・飼育・標本から—	B-3〇那須義次 ¹ ・荒尾未来 ² ・重松貴樹 ³ ・屋宜禎央 ² ・広渡俊哉 ² ・村濱史郎 ⁴ ・松室裕之 ⁴ ・上田恵介 ⁵ （1大阪府大，2九大，3早稲田佐賀高校，4日本バードレスキュー協会，5立教大学） リュウキュウアカショウビンの巢内共生鱗翅類
10:15	A-4〇窪田宣和（愛知県半田市）・金 哲史（高知大・農林海洋科学・農化）・本田計一（西条生態研）・増田理子（名工大・社会工学） アサギマダラの匂い物質	B-4〇山川 諒 ¹ ・平井規央 ¹ ・矢後勝也 ² ・上田昇平 ¹ ・石井 実 ³ （1大阪府大・生命，2東大総研博，3大阪府大） ヒメシロチョウ3個体群の温度日長反応の比較
10:30	A-5井上大成（関東，森林総研多摩） 日本のチョウの幼虫の何パーセントが巣をつくるのか？	B-5〇中筋千晶 ¹ ・上田昇平 ¹ ・平井規央 ¹ ・石井 実 ² （1大阪府大・生命，2大阪府大） ギフチョウとヒメギフチョウに共通のマイクロサテライトマーカーの開発
10:45	A-6松田真平（近畿） フェントンの福島・新潟での足跡探訪記	B-6小田康弘（関東） 北海道産 <i>napt</i> 2種の季節型変化について
11:00	A-7渡邊通人（関東，NPO法人富士山自然保護センター） モンシロチョウ南アルプス高地個体群について	B-7鈴木 光（九州） ミカドアゲハの蛹体重と前翅長との関係について
11:15~12:00	ポスター発表コアタイム—ナウマンホール	
	P-1山本毅也・長崎二三夫・八木孝司（近畿） オオムラサキにおける後翅肛角紋の色が両親とは逆転した雌雄モザイク個体の発生	
	P-2星光 流・松井安俊（関東） アガボシゴマダラ侵入域でのゴマダラチョウ樹上越冬の急減	
	P-3平石 明（関東） アカボシゴマダラの越冬幼虫の分布と動態	
	P-4平井規央 ¹ ・矢後勝也 ² ・谷尾 崇 ² ・中村康弘 ³ ・水落 渚 ⁴ ・関根雅史 ⁴ ・佐藤大輔 ¹ ・石井 実 ¹ （1近畿・大阪府大院，2関東・東大総研博，3関東・日本チョウ類保全協会，4足立区生物園） ツシマウラボシシジミの発育に及ぼす温度の影響	
	P-5宮川美紗 ¹ ・石原道博 ¹ ・八木孝司 ² （1大阪府大・理学，2近畿） 日本のキアゲハの遺伝的多様性と系統関係	
12:00~13:00	自然保護委員会	講堂
13:00~13:30	総会	講堂
13:30~14:20	特別講演：鈴木睦昭・鹿児島浩（遺伝研 ABS学術対策チーム） 海外の遺伝資源を使って研究するときの生物多様性条約や名古屋議定書に対する対応—講演	
14:20~14:35	休憩	
14:35~15:35	一般講演	
14:35	A-8〇中上喜史・石井 実（近畿） 北陸地方と大阪におけるヒメアカタテハの2012年から2019年の季節消長	B-8〇小林茂樹 ¹ ・木村正明 ² ・吉安 裕 ¹ （近畿）（1大阪府大院・生命・昆虫，2有限会社ガショウ） カラシ油配糖体をもつツゲモドキ（ツゲモドキ科）を利用する小蛾類

14:50	A-9林 太郎（近畿） ムラサキツバメの集団行動	B-9〇寺本憲之（滋賀県大, 琵琶湖博）・吉安 裕（大阪府大） ウスアカマダラメイガ（メイガ科）の生活史と幼生期の形態
15:05	A-10〇谷尾 崇 ¹ ・伊藤勇人 ¹ ・中村康弘 ² ・永幡嘉之 ² ・水落 渚 ³ ・ほか12名（1東京大学総合研究博物館, 2日本チョウ類保全協会, 3足立区生物園） 国内希少種ツシマウラボシジミの保全に関する生理・生態学的研究	
15:20	A-11〇大谷郁生 ¹ ・平井規央 ¹ ・森地重博 ² ・上田昇平 ¹ （1大阪府大・生命, 2近畿） 大阪府能勢町におけるキマダラルリツバメの生活史と寄主アリとの関係	
15:40～	閉会の辞	講堂